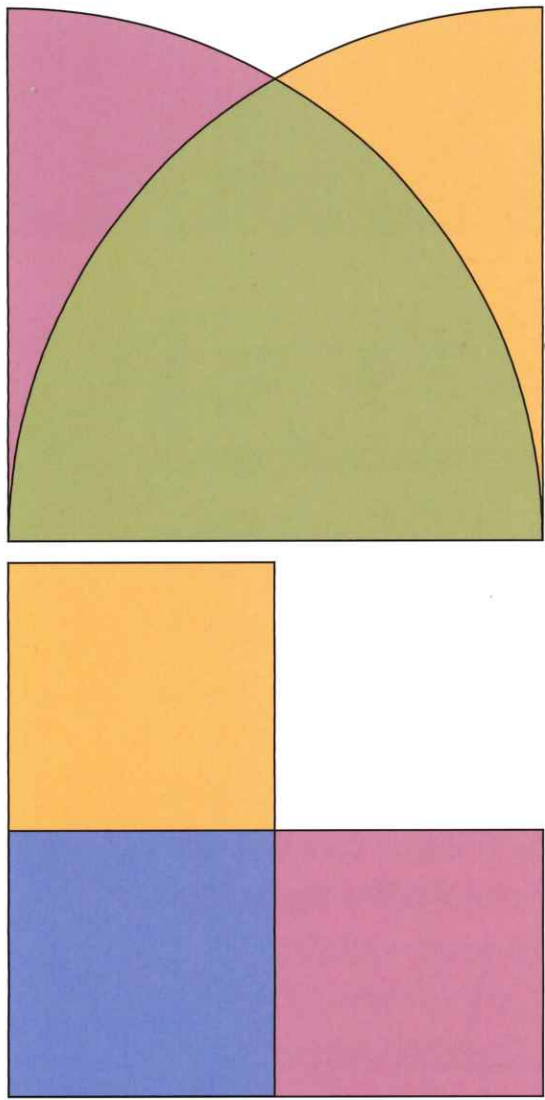




KASUMI KAIKAN MEMORIAL
GAKUSHUIN MUSEUM
霞会館記念 学習院ミュージアム

Museum Letter No.56

発行日 ● 令和7年(2025)6月20日

もくじ

ごあいさつ	1
写真 皇太子裕仁親王／御好裂	2
唐三彩と俑／古代土器複製標本	3
李王家紋のボンボニエール／ 展覧会「華族文化 美の玉手箱」報告	4



リニューアルオープン記念展Ⅱ フライヤー

ごあいさつ

学習院大学の皆さん、本年3月より、我が目白キャンパスに待望の霞会館記念学習院ミュージアムがオープンいたしました。場所はキャンパス内の東側、メタセコイヤや欅の大きな木が並ぶ森のなかに、新たなミュージアムが佇んでいます。この建物はコンクリート打ちっ放しの歴史的建造物です。設計者はかの前川國男(1905-86)。彼はル・コルビュジエ、アントニン・レーモンドのもとで学び、モダニズム建築の旗手として、第二次世界大戦後の日本建築界をリードした人物です。つまりこの建物は学習院の「宝」でもあるのです。館内は落ち着いたシックな雰囲気でリニューアルされました。授業の合間などに、ふらりと気軽にこのミュージアムに訪れてください。ステキな美術作品との出会いがあるかも。

ところで、ご挨拶が遅くなりました。私は館長の荒川と申します。学習院大学の教員になる前は、長く美術館の学芸員をしてきました。これから皆さんに喜んでもらえるような展覧会をどんどん企画していきたいと思います。これまで学内には文学部研究棟の1階に昭和50年(1975)に開館した大学史料館が存在し、旧大名や旧公家などの文化史研究が地道に続けられてきました。しかし、旧展示室ではあまりに展示スペースや収蔵庫が狭く、展覧会活動には制限がありました。そこでこの度の新ミュージアムが建設されたのです。学生の皆さんもこの展覧会企画に参加していただくプランもあります。皆さん、霞会館記念学習院ミュージアムでお待ちしています。

館長 荒川正明

芸術と伝統文化のパトロネージュⅡ まだまだ開く玉手箱展

令和7年(2025)3月14日に学習院大学史料館は霞会館記念学習院ミュージアムとしてリニューアルオープンいたしました。開館記念展「学習院コレクション 華族文化 美の玉手箱 芸術と伝統文化のパトロネージュ」は15,000人を超える多くの方々にご観覧いただきました。今展はパートⅡとして、引き続き当館の25万点に及ぶ収蔵品からパトロネージュにまつわる作品をご紹介します展覧会です。

学習院の教育理念は今も昔も「豊かな人間性」を育むことにあります。そのため教育教材にも一流の史料・作品が用いられてきました。このたびの展覧会では、教育教材に使用されていた、そして現在も使用されている、標本類をはじめとする史料・作品の中から「こんなものも教材?」と思わず唸る逸品などもご紹介し、それにまつわるパトロネージュの物語をひもときます。まだまだ開く学習院コレクションの玉手箱をお楽しみください。

学芸員 長佐古美奈子